

多様なサービスに関する
地域の関係者との連携事例と
検討のモデル(案)

1. タクシーの位置づけと地域関係者との連携

タクシーは、地域公共交通を形成する重要な公共交通機関

地域の関係者と連携した

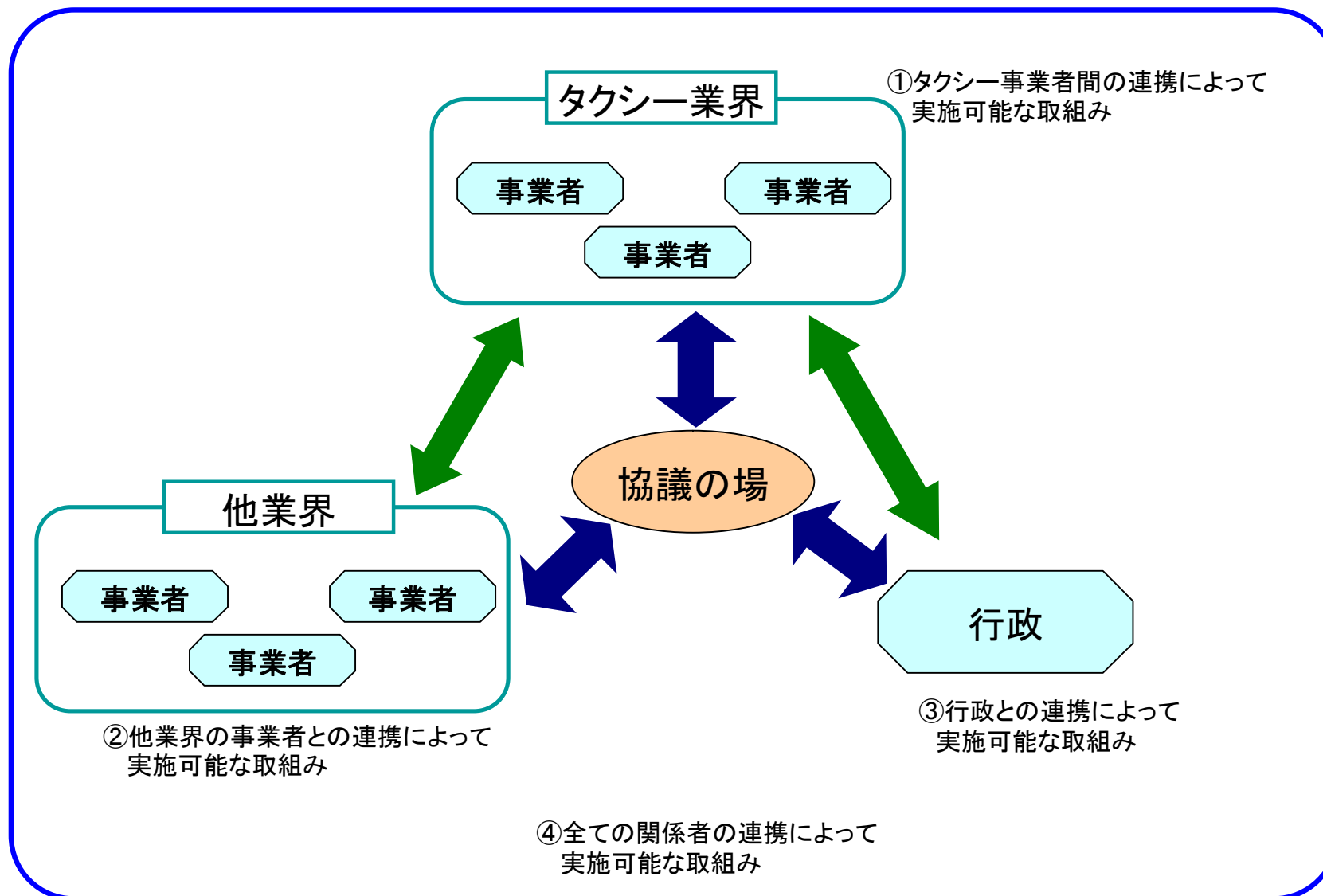
○従来型のサービスとは異なるサービス提供

○利用者への情報提供を含む需要拡大の取り組み
が、地域の公共交通の利用者による選択性向上と事業者収益の拡大に繋がるのではないか。

既に実施されている事例から、「地域関係者との連携」についての取り組み事項を整理し、モデル化することを目指してはどうか。

2. 地域関係者との連携のモデル(案)

下記のようなモデルを念頭において、既存の実施事例を整理し、連携のモデルを検討してはどうか。



3. ちゅら島沖縄観光タクシーの事例

(1) 概要

沖縄県内のタクシー乗務員の資質並びにサービスの向上を図ることにより、タクシー利用者の満足度の向上と、「観光タクシー」の商品価値の確立、新しい観光ニーズへの対応、ひいては沖縄観光の質の向上に寄与することを目的とした[乗務員資格認定制度により、地域に訪れる観光客ニーズ](#)に対応している。

①地域特性(沖縄県)

- ・観光地
- ・地域内の主な交通手段は自動車(公共交通では、バス、タクシーかモノレール)

②連携の当事者

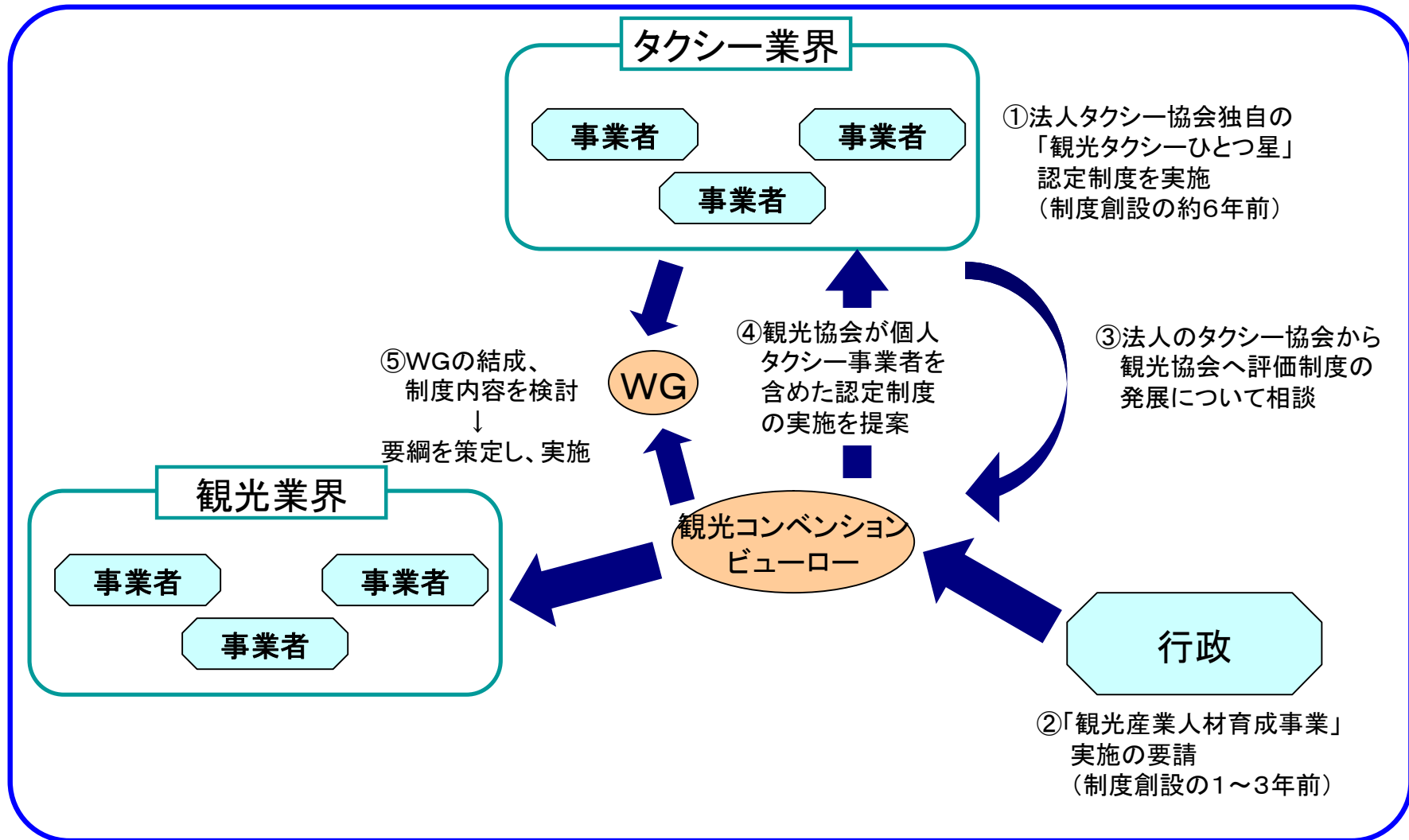
- ・タクシー事業者
- ・タクシー協会(社団法人沖縄県ハイヤー・タクシー協会、社団法人全国個人タクシー協会沖縄支部)
- ・観光協会(財団法人沖縄観光コンベンションビューロー)

③その他

- ・サービス提供開始年月:平成19年4月
- ・認定者数:526名
- ・利用者数:年間10,268件(平成20年度実績)

3. ちゅら島沖縄観光タクシーの事例

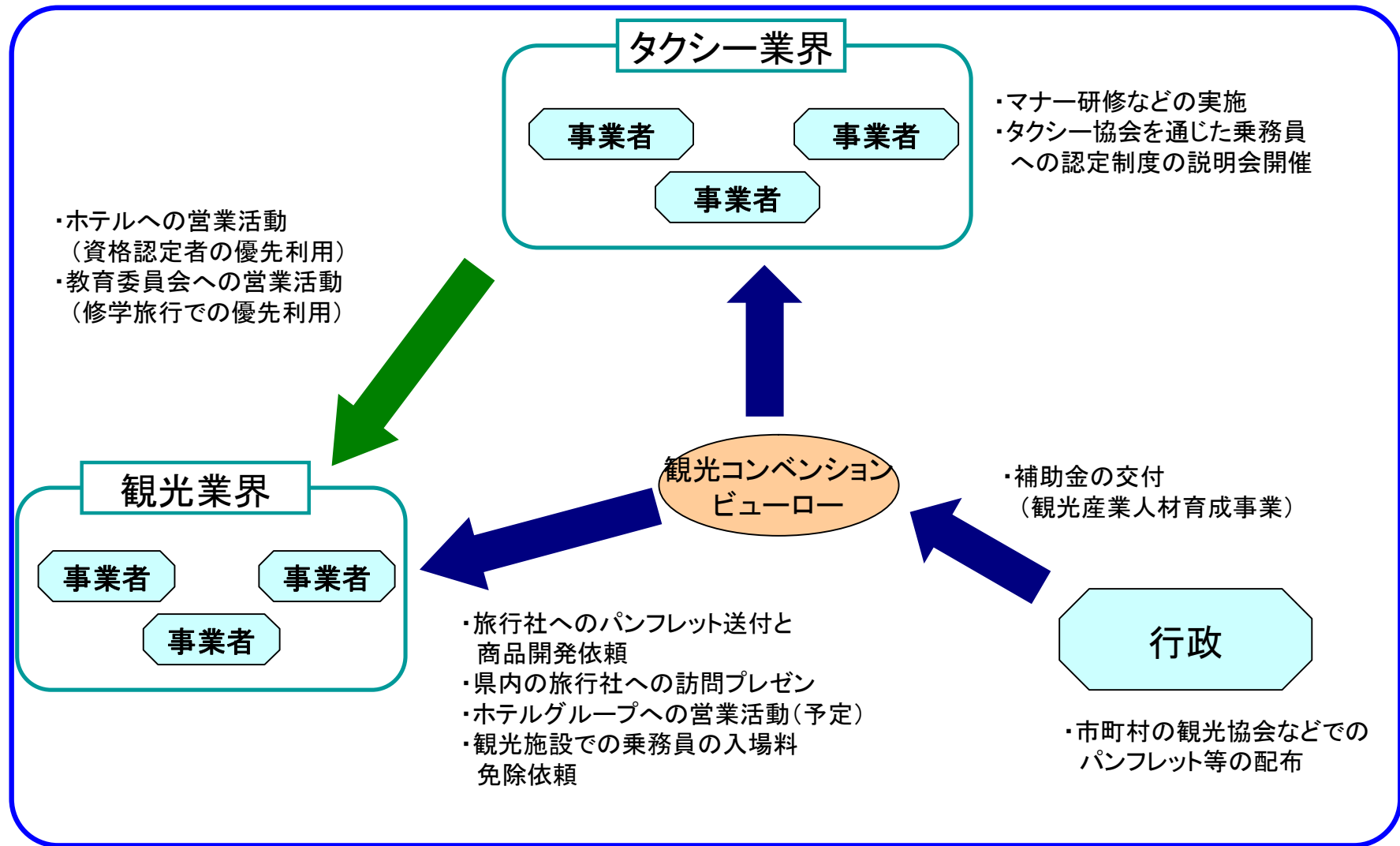
(2) 制度構築までの取組み



①～⑤の番号は、時系列の流れ

3. ちゅら島沖繩観光タクシーの事例

(3) 制度構築後の取組み



4. 東濃STSの事例

(1) 概要

岐阜県内の3市(多治見市、土岐市、瑞浪市)のタクシー事業者(7社)が、資本の出資及び福祉車両の拠出を行い、[福祉輸送専門の会社](#)を設立した上で、地域の「窓口一元化による利用者の利便性の確保」、「需要と供給のミスマッチの解消」「情報の共有」を目的として、行政及びNPO法人と連携して[共同配車センター](#)を設立し、[地域の福祉輸送ニーズ](#)に对应している。

①地域特性(多治見市、瑞浪市、土岐市)

- ・高齢化(平成15年:18.9%→平成20年:22.2%)
- ・福祉輸送ニーズの存在(約1.9万人の移動制約者数(人口:約22万人))

(移動制約者:身体障害者、要介護認定者、要支援認定者、療育手帳保持者、精神障害者保育福祉手帳保持者、特定疾患医療受給者証交付者)

- ・人口偏在による公共交通機関のサービス低下

②連携の当事者

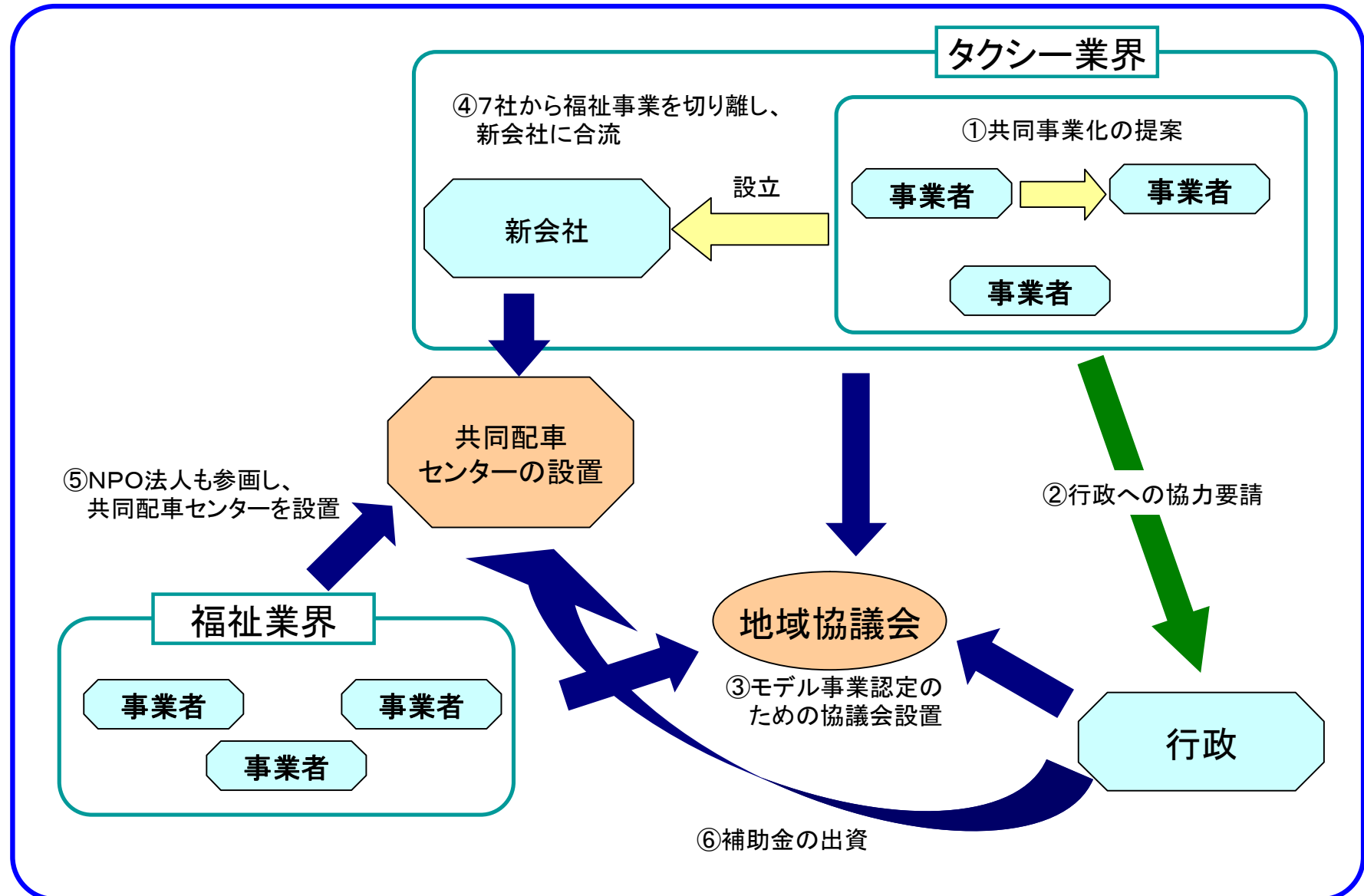
- ・タクシー事業者(7社)
- ・NPO法人
- ・行政(多治見市、土岐市、瑞浪市、中部運輸局)

③その他

- ・サービス提供開始年月:平成21年4月
- ・車両数:7両(福祉車両)

4. 東濃STSの事例

(2) 会社設立までの取組み



①～⑥の番号は、時系列の流れ

5. かしわ乗合ジャンボタクシーの事例

(1) 概要

柏市郊外の乗合バス路線の廃止等に伴い、公共交通空白・不便地域の解消に向け、主に自家用車を利用しない住民の日中の移動手段を提供することで、地域の少人数定期輸送ニーズに応えている。

①地域特性(柏市)

- ・狭隘道路が多く、大型車両の通行困難
- ・市内の中心部は鉄道及びバス路線での運行があるが、郊外地区では乗合の旅客輸送サービスが少ない

②連携の当事者

- ・タクシー事業者
- ・行政(柏市)

③その他

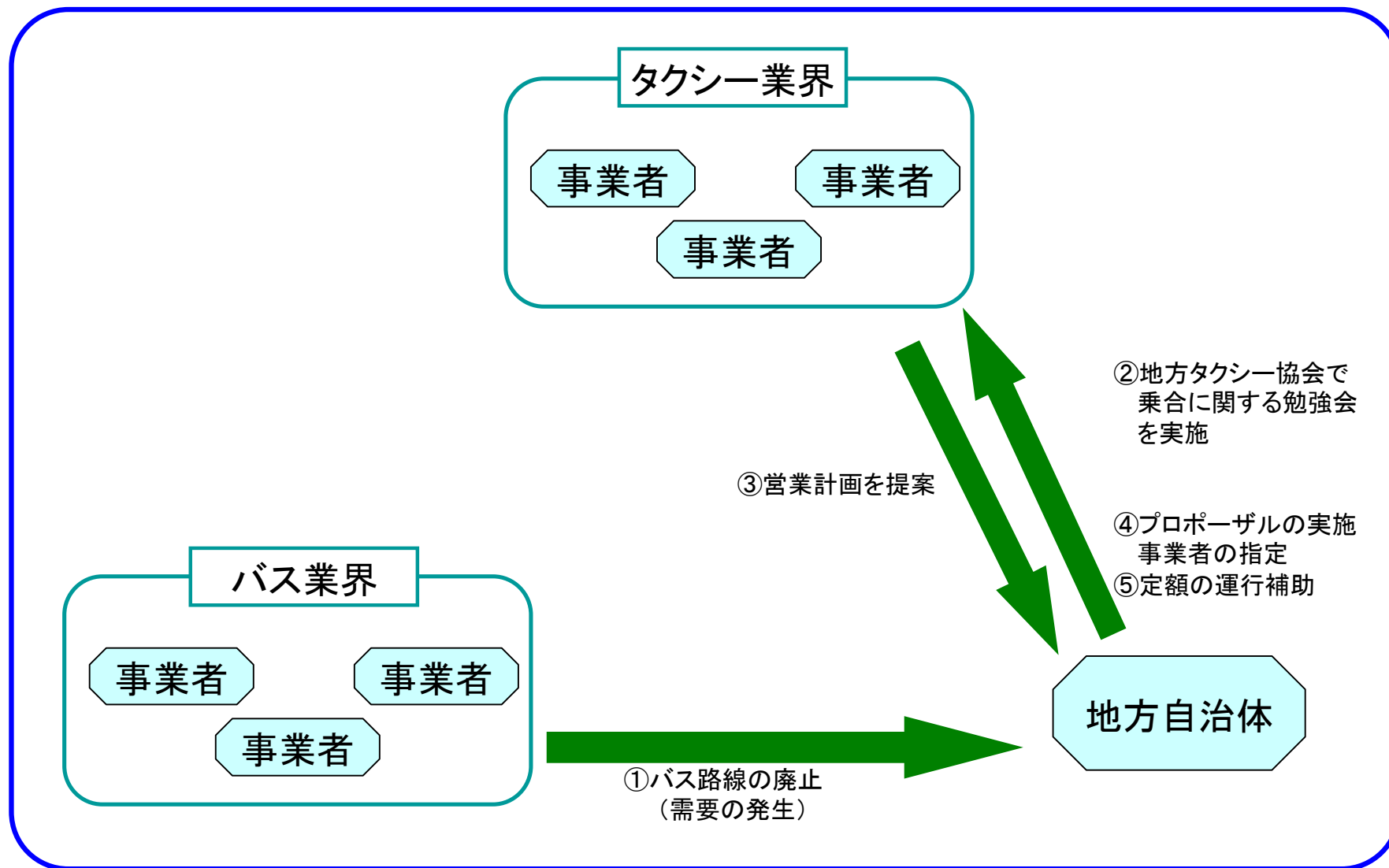
- ・サービス提供開始年月:平成17年9月
- ・料金:大人200円、小学生・障害者100円(ともに、1回乗車あたり)
- ・利用者数:約4万名(平成20年度の合計のべ利用者数)
- ・定額の運行補助費(3.7万円/日)を柏市が負担



乗合ジャンボ
タクシーです!! **全区間均一料金**

5. かしわ乗合ジャンボタクシーの事例

(2) サービス実施までの取組み



①～⑤の番号は、時系列の流れ

6. 銚子地区における地域連携の事例

(1) 概要

銚子地区において、複数事業者が定期的に情報交換を行い、共同でGPS配車システムを運営しつつ、ケア輸送サービスやタクシー代行サービスなどを各社で実施することで、[地域の多様な輸送ニーズ](#)に応えている。

①地域特性

- ・高齢化
- ・公立医療機関の休止

②連携の当事者

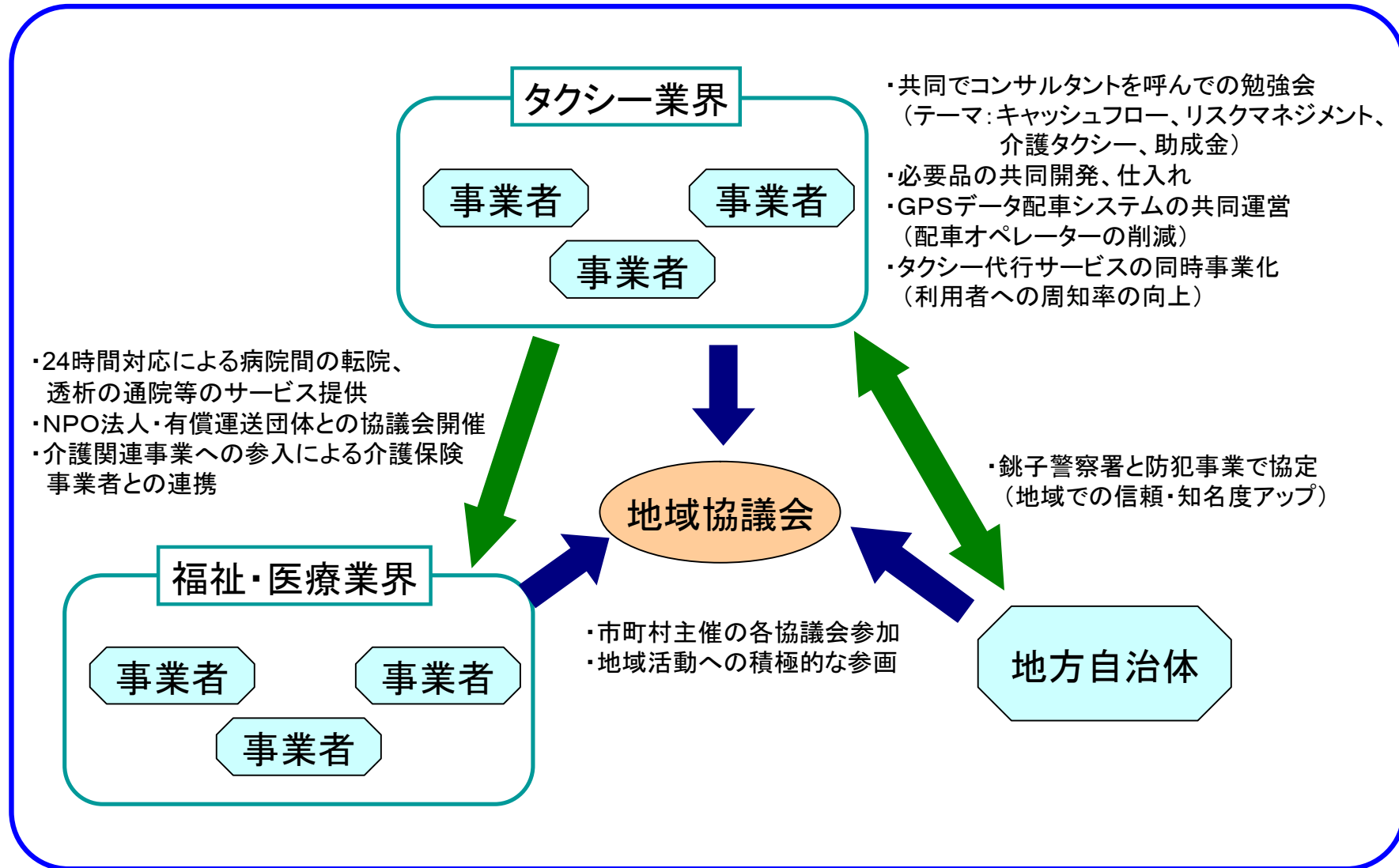
- ・タクシー事業者
- ・福祉・医療関連事業者
- ・行政(銚子市、銚子警察署)

③その他(地区内の事業者の例)

- ・事業収益(売上)の大幅増(数年で2倍)
- ・事業ポートフォリオの変化: 通常のタクシーサービス100%から、通常のタクシーサービス50%、ケア輸送サービス35%、タクシー代行15%へ
- ・就業希望者の変化(運転業種経験者中心から、他の産業経験者中心へ)

6. 銚子地区における地域連携の事例

(2) 連携による取組み



7. サポートキャブの事例

(1) 概要

増加する救急車需要の低減のために、民間救急コールセンターを設置し、緊急性がない通院や入退院、転院などの際にコールセンターが事業者を案内する。初期は、寝台(ストレッチャー)や車椅子のまま輸送サービスを提供する民間救急のみであったが、歩行が可能な場合の普通車での救急輸送ニーズがあることが判明したため、タクシー事業者を加えることで、より広い輸送ニーズに对应している。

①地域特性

- ・救急車の需要の増加
- ・首都圏で人口が多い

②連携の当事者

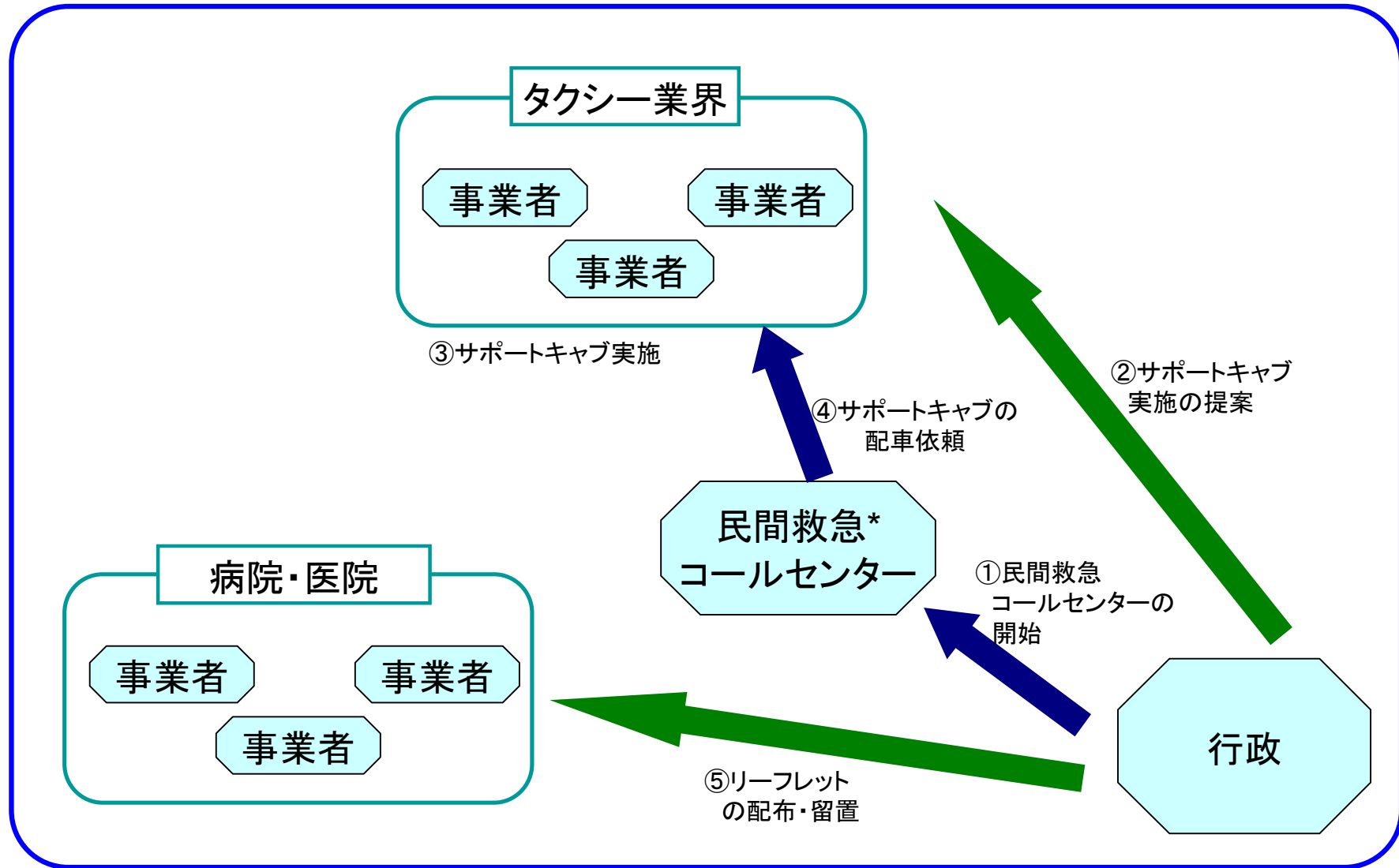
- ・東京消防庁
- ・(財)東京救急協会
- ・タクシー事業者
- ・病院・医院

③その他

- ・乗務員全員が救命講習の受講修了者であり、救急資機材を搭載している。
- ・平成16年9月に施行、平成17年4月に民間救急コールセンターを開始。
- ・平成17年9月にサポートキャブを追加。

7. サポートキャブの事例

(2) 連携による取組み



* 民間救急コールセンターの実施は公益財団法人東京救急協会が行っている

①～⑤の番号は、時系列の流れ

8. 練馬区内における子育てタクシーの事例

(1) 概要

区によるタクシー運転者に対する妊婦や乳幼児の移送に関する講習会及び検定制度を構築し、10社以上の事業者が参画している。また、子育て輸送専門の会員制サービスを行う事業者もあり、[地域の子育て輸送ニーズ](#)に応えている。

①連携の当事者

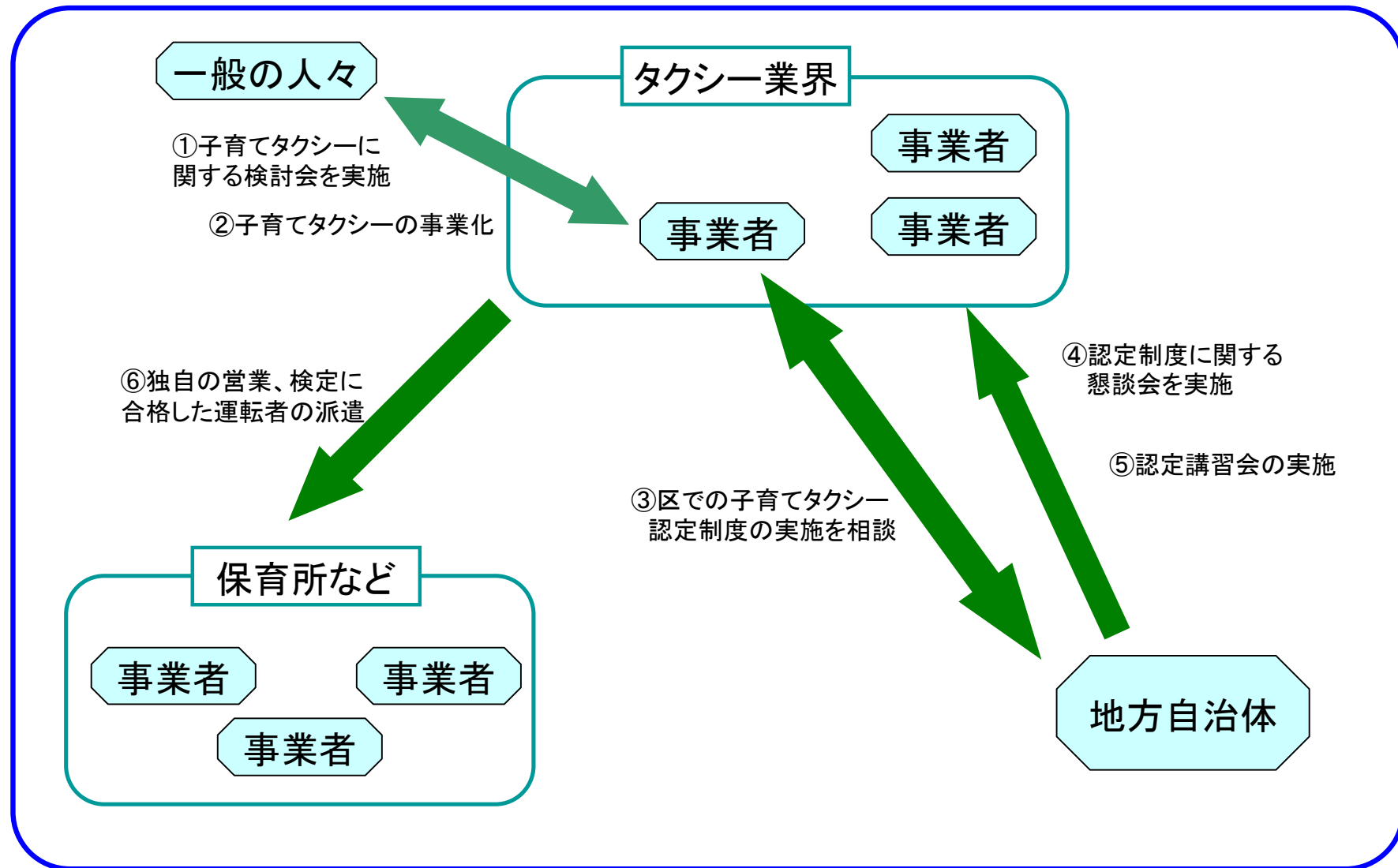
- ・タクシー事業者
- ・練馬区

②その他

- ・練馬キッズ安心タクシー認定制度
 - ・サービス開始：平成21年6月
 - ・練馬区内のタクシー事業者11社の運転者150名程度を認定
- ・子育て輸送専門の会員制サービス
 - ・練馬区内の事業者が実施
 - ・サービス開始：平成20年9月
 - ・完全会員制でサービス提供を行うことで、運転者の安全を確保し、子育て輸送に適したドライバーを募集することに成功した

8. 練馬区内における子育てタクシーの事例

(2) 連携による取組み



①～⑥の番号は、時系列の流れ

9. 地域関係者の連携モデル

個々の事業者努力を前提とした上で、下記のような連携モデルが考えられるのではないかと。

